

連携協約項目			事業 （取組） 名	KPI（成果目標）							連携市町評価							H30年度 高松市取組実績	連携市町の評価の理由	
				KPI	KPI説明	単 位	30年度 目標	30年度 実績	達成 率	H30年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町	直 島 町			綾 川 町
1	圏域全体の経済成長のけん引	ア 産学金官民一体となった懇談会の設置・運営等	産学金官民一体となった懇談会の設置・運営等	圏域全体の経済成長のけん引等に係る連携事業数	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンに掲載する圏域全体の経済成長のけん引分野の事業（取組）数	事業	13	13	100	R5年度までに、4事業を追加することとしており、計画期間前半の2年間で1事業を追加する。H30年度は一定の成果を挙げた事業の終了にかえて、新たに戦略的な観光施策を追加し、目標を達成した。	A	B	A	A	A	A	B	A	H30年度には、圏域の若者を対象に圏域若者会議を開催し、「圏域全体の経済のけん引」の分野に係る新規・拡充事業について出された意見等を踏まえ、次年度「幅広い層が集まる「場」づくり」事業を新規事業として取り組むこととなった。	【さぬき市】特になし。 【東かがわ市】瀬戸高松中枢都市圏ビジョン懇談会等で産学金官民連携の懇談会を開催する 【土庄町】実績なし 【小豆島町】懇談会に参加した。 【三木町】なし 【直島町】取り組み実績なし。 【綾川町】ビジョン策定懇談会など積極的に参加できた。
		イ 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成	中小企業経営力強化事業	講習会等受講者数	1年間に開催した講習会等の受講者数	人	2,375	1,995	84.0	受講者数については第6次総合計画の指標にもなっており、目標設定は総合計画と同数にしている（H26年度実績2271人を現況値として毎年度25人増）。 H30年度は、企業側のニーズも高く、2000人近い受講を得たが、H29年度より、開催回数と、見直しの余地がないメニュー（確定申告相談会等）の受講者数が減少したことにより、目標とする受講者数の達成には至らなかった。	B			B	C				H30年度は、「プレゼン資料の作り方セミナー」など、年12回の講習会を開催した。 前年度と同じ事業費（共催負担金1,600千円）で、企業ニーズに合わせた内容で実施したことにより、2000人程度の受講を確保できた。	【土庄町】実績なし 【小豆島町】取組み実績なし
		ウ 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	ブランド農産物育成支援事業	たかまつ食と農のフェスタにおける出展者販売額	たかまつ食と農のフェスタを開催し、連携市町からも出展してもらい、地域の特産物のPR及び販売促進を図る。	千円	9,000	10,315	114.6	○H30年度の目標設定方法：過去の実績を基に目標値を設定している。 ○目標値に対する実績の理由：たかまつ食と農のフェスタの来客数も多く、目標額以上の実績になった。	A	B	B	B				B	たかまつ食と農のフェスタを開催し、連携市町からも出展の協力を得て地域の特産物のPR及び販売促進を図った。	【さぬき市】たかまつ食と農フェスタにさぬき市から3団体（飯田農園、さぬきワイナリー、ひまわり生活研究グループ）が出展し、特産品のPR及び販売促進を行った。 【東かがわ市】東かがわ市農作物トップセールスを実施 【土庄町】たかまつ食と農のフェスタに出店（企画課） 【綾川町】たかまつ食と農のフェスタには参加できなかった。町内の特産物PRイベントや農業振興イベントは開催できた（いちご、ぶどう、アスパラ、ブロッコリー、うどん、芋煮、どじょう汁等）。
		エ 戦略的な観光施策	誘客促進事業観光連携協議会等の設置・運営	観光施設等利用者数	市内の主な観光施設等利用者数	千人	6,558	6,595	100.6	【目標の設定方法】第6次高松市総合計画策定時（H26）に5年後に達成する目標として現況値の1%増を目標に掲げており、そこから中間目標値として設定。 【目標値に対する実績の理由】国内外への情報発信を継続的に実施したことが、観光施設等の認知度向上に繋がり、市内の主な観光施設等利用者数が増加した。	A	B	B	A	C	B	B	B	今まで以上に連携しながら、機動的に取り組むため、「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏観光振興協議会」を設ける。協議会内に、各自自治体・観光協会の担当者からなるワーキンググループを設け、事業の検討を行った。	【さぬき市】平成30年9月26日に瀬戸・高松広域連携中枢都市圏観光振興協議会が発足した。 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】協議会を開催し、誘客に向けた事業を協議した。 【小豆島町】協議への参加を行った 【三木町】なし 【直島町】観光振興協議会（2回）、担当者会（1回）に出席した。 【綾川町】実績なし。（県観光振興課の入込客数調査については、町内の主要施設の入込客数について報告している）
			国内誘客促進事業	観光施設等利用者数	市内の主な観光施設等利用者数	千人	6,558	6,595	100.6	【目標の設定方法】第6次高松市総合計画策定時（H26）に5年後に達成する目標として現況値の1%増を目標に掲げており、そこから中間目標値として設定。 【目標値に対する実績の理由】国内外への情報発信を継続的に実施したことが、観光施設等の認知度向上に繋がり、市内の主な観光施設等利用者数が増加した。	A	B	C	B	B	B	B	B	クルーズ船社訪問等を行い、本市への誘致活動を行った。 ※農林水産課からの執行委任を受け、東京モノレール及び京急電鉄の車両内まど上に本市の観光PR広告を掲出し、首都圏の方々へのPRを行った。）	【さぬき市】取組実績なし 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】「小豆島クルーズ」の実施、「第39回瀬戸内海タートル・フルマラソン全国大会」の開催、「第41回せたがや区民まつり」、「第44回ナニワ区民まつり」などに出席参加し、観光客誘客を図った。 【小豆島町】航路で繋がる神戸においてイベント（神戸まつり）出展を行い、観光PR活動を行った。 【三木町】なし 【直島町】宮浦港湾湾施設のバトロール、イルミネーションの実施。 【綾川町】実績なし。（県観光振興課の入込客数調査については、町内の主要施設の入込客数について報告している。）
			海外誘客促進事業	香川県外国人延べ宿泊数	香川県内の外国人延べ宿泊者数	人	500,000	527,300	105.5	【目標の設定方法】政府目標である「訪日外国人数を2020年に4000万人」の伸び率を上回る宿泊者数の増加を目指す。 【目標値に対する実績の理由】平成30年も前年と同様に香川県の外国人延べ宿泊者数を伸ばしており、目標値よりも多くの外国人観光客が本市を訪れた。	A	B	B	B	B	B	C	B	高松空港と定期航路で結ばれた台北、上海、ソウル、香港からの観光客誘致するため、公益社団法人香川県観光協会に対し、補助を行うとともに、（公財）高松観光コンベンション・ビューローが実施する誘客事業に対し補助を行った。 平成30年の香川県の外国人延べ宿泊客数は527,300人泊（速報値）となっており、対前年比＋9.3％で、増加の一途をたどっている。。	【さぬき市】取組実績なし 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】実績なし 【小豆島町】島民有志で結成された、英語ボランティアガイドを行うウェルカムサポーターの育成 【三木町】なし 【直島町】取組実績なし。 【綾川町】実績なし。
			国内外観光客向け情報発信事業	観光施設等利用者数	市内の主な観光施設等利用者数	千人	6,558	6,595	100.6	【目標の設定方法】第6次高松市総合計画策定時（H26）に5年後に達成する目標として現況値の1%増を目標に掲げており、そこから中間目標値として設定。 【目標値に対する実績の理由】国内外への情報発信を継続的に実施したことが、観光施設等の認知度向上に繋がり、市内の主な観光施設等利用者数が増加した。	A	B	B	B	B	B	C	B	訪日外国人観光客向けの民間WEBサイト「MATCHA」との連携を行い、2本記事を作成した他、上記サイトとの相互リンクを行った。その結果、訪問数・ページビュー数・ユーザー数ともに連携前に比べ増加し、特に訪問数については記事を掲載した前後の月で伸び率40%以上であった。	【さぬき市】取組実績なし 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】観光ホームページ、パンフレット、パワーブローガーによるSNSを活用して、圏域内の観光情報等を国内外に発信した。 【小豆島町】HPでの多言語化による情報発信を整備中 【三木町】なし 【直島町】取組実績なし。 【綾川町】実績なし（綾川町としては綾川町観光協会HPの更新、パンフレットの更新を行った。）

連携協約項目			事業 （取組） 名	KPI（成果目標）							連携市町評価							H30年度 高松市取組実績	連携市町の評価の理由
				KPI	KPI説明	単 位	30年度 目標	30年度 実績	達成 率	H30年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町	直 島 町		
			瀬戸内国際芸術祭推進事業	-	-	-	-	-	瀬戸内国際芸術祭2013の来場者数を基に目標値を算出する。 会場毎に基準施設を設け、その来場者数を集計し、実績値とする。	A			A	A		A	ARTSETOUCHI2018の開催と、瀬戸内国際芸術祭2019開催に向けた準備を行った。 【土庄町】ART SETOUCHI2018の後援事業として「ドラムタオ小豆島公演」を開催したほか常設展示作品の公開など、会期外にも作品やイベントを展開し誘客を図った。 【小豆島町】ART SETOUTIとして継続作品の展示やイベントの実施を行うとともに、瀬戸内交際芸術祭2019に向けて、準備を行なった。 【直島町】町内に実行委員会を設立し、開催に向けての準備等を実施した。		
			新たな観光プランの企画、販売等	観光施設等利用者数	市内の主な観光施設等利用者数	千人	6,558	6,595	100.6	【目標の設定方法】首都圏における航空国内定期路線利用者を対象に本市をPRすることによって、本市への誘客につなげる。 【目標値に対する実績の理由】本市を効果的にPRすることにより、入込客数を増加させることができた。	B	B	B	B	D	B	C	A	昨年に引き続き、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の観光振興のため、（公財）高松観光コンベンション・ビューローが造成する「ぶち旅プラン（着地型旅行商品）」の企画・販売事業を支援した。 コース数10コース参加者数129名 【さぬき市】取組実績なし 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】特になし 【小豆島町】取組み実績なし 【三木町】なし 【直島町】取組実績なし。 【綾川町】公益財団法人高松観光コンベンションビューローの会費を納入し、「ぶち旅プラン（着地型旅行商品）」のパンレットを経済課窓口に設置。
			イベント交流の促進	まつり・イベント入込み客数	観光客誘致に資するまつり・イベント実行団体発表の入込み客数をカウント	人	1,244,700	985,829	79.2	より効果的な周知宣伝活動により、まつり・イベント入込み客数を5年後に1割増を目指す。	B	B	B	C	B	A	C	B	連携市町が実施する祭りや全国的、国際的な会議、各種イベントなどにおいて、各自治体において相互に周知宣伝活動を行う。 【さぬき市】取組実績なし 【東かがわ市】「引田ひなまつり」や「風の港まつり」などのイベントの開催 【土庄町】【島内イベント】第38回小豆島まつり 約3,000人、第32回日本一どてかぼちゃ大会 約800人、第39回瀬戸内海タートルフルマラソン全国大会 3,129人、【島外イベント】第41回せたがや区民まつり 45,000人、第44回ナニワ区民まつり 【小豆島町】各種イベントの周知宣伝活動の実施、夏まつり大会 10,000人、マラソン大会 5,200人、中山千枚田虫送り 0人（雨天中止） 【三木町】H28.10.22に開催した、三木町の秋大祭「獅子たちの里 三木まんて願。」 【直島町】取組実績なし。 【綾川町】実績はなし（あやがわサマーフェスティバル来場者数5,000人）
			デリバリーアーツ事業	鑑賞者数	参加を希望される協力団体の提供場所の規模により、鑑賞者数に偏りがあるため、鑑賞者数では判断しきれない。限られた予算の中で、公演の質の維持と事業を継続していくことを重点に実施する。	人	2,000	2,240	112.0	事務事業評価と合わせた鑑賞者数で目標設定を行う。 コミュニティセンターなどの大規模な場所よりも老人福祉施設など小規模な場所での開催が増加傾向にある中、鑑賞者数は目標値を上回った。また、開催した団体からは好評であるため再度実施したいという要望が多く、満足度は高い。市民の身近なところで文化芸術に触れる機会を提供するという事業目的も達成している。	A	B	B	C				B	■開催回数：全17回（うち、さぬき市及び東かがわ市で各1回） ■鑑賞者数：2,240人（うち周辺市町人） 落語、瀬戸フィルアンサンブル演奏、和太鼓、金管五重奏、あやつり人形劇、尺八コンサート及びサーカスキャラバンの7メニューで実施。 連携市町に呼びかけ、さぬき市及び東かがわ市でも実施した。 前年度よりも鑑賞者が190人増えたとともに、開催した団体から好評であり、再度実施したいという要望が多く、満足度が高いといえる。 【さぬき市】さざんか荘にて12月に瀬戸フィル管弦楽団演奏。 【東かがわ市】瀬戸フィル音楽会を開催した。1回開催、約60人来場。 【土庄町】実績なし 【綾川町】実績なし。
			文化芸術鑑賞等の機会の提供	鑑賞者数	児童、先生を合わせた鑑賞者数（連携市町分含む）高松市と連携市町の全6年生を招待しているため、児童数と引率教員数が鑑賞者数となる。平成25年～27年の平均鑑賞者数を基に目標比を算出する。	人	5,704	5,537	97.1	H27年～29年の平均鑑賞者数を基に目標値を算出する。 児童数と引率教員の合計数がそのまま鑑賞者数となるため、その年の児童数の増減による。	A	A	C	A	A	A	A	A	【さぬき市】平成31年2月13日・14日・15日の3日間参加。さぬき市内8小学校 児童・教諭393名が鑑賞 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】高松市で行われた劇団四季ミュージカルに町内小学校の6年生が参加 【小豆島町】町内にある4小学校6年生が、劇団四季ミュージカルを鑑賞した。 【三木町】町内全小学校（4校）の6年生が、サポート高松で開催の劇団四季ミュージカル「王様の耳はロバの耳」を鑑賞 【直島町】鑑賞者数18人（児童16人、引率教員2人） 【綾川町】鑑賞者数：225名（内、町内各小学校6年児童206名）
			文化芸術鑑賞等の機会の提供	校数	参加校数	校	35	44	125.7	H28年度実績（32校）を基に設定。 H30年度はH27年度の休館期間を経て、H28年3月のリニューアルオープンから2年間が経過し、知名度も再び上がってきたことから、参加校数も伸びたと考えられる。	A	B	C	A	D	A	C	A	【さぬき市】取組実績なし 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】高松市で行われた劇団四季ミュージカルに町内小学校の2校とも参加 【小豆島町】ー 【三木町】町内全小学校（4校）の6年生が、サポート高松で開催の劇団四季ミュージカル「王様の耳はロバの耳」を鑑賞 【直島町】取り組み実績なし。 【綾川町】鑑賞校数：5校（町内全小学校）
			観光バリアフリーのためのUDマップ作成・活用事業	UDマップ掲載HP閲覧数	連携中枢都市圏のHPIにUDマップを掲載する予定のため、掲載後のHP閲覧者数をKPIとする	件	-	1,515	-	UDマップ作成に向けて検討しており、H30年度末に公開を始めた。実績値については平成31年3月26日～31日までの実績である。	A	B	B	A	B	A	B	B	平成31年3月26日に公共施設等のバリアフリー情報や多言語対応の情報を掲載した「たかまつユニバーサルデザインマップ」公開した。スポーツ施設やコミュニティセンターなどの公共施設のほか、駅やフェリー乗り場、小売店、宿泊施設など約750施設の情報を掲載。瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の施設情報も掲載。 【さぬき市】UDマップ構築に係るアンケートや調査等を行った。 【東かがわ市】ー 【土庄町】UD啓発ポスターを作成した。 【小豆島町】取り組み実績なし 【三木町】UDマップに掲載するバリアフリー化施設の情報提供。 【直島町】初回登録：12施設 【綾川町】高松市より綾川町内の観光施設のバリアフリー化の状況についての照会があり、情報提供を行った。

連携協約項目			事業 (取組) 名	KPI（成果目標）							連携市町評価							H30年度 高松市取組実績	連携市町の評価の理由	
				KPI	KPI説明	単 位	30年度 目標	30年度 実績	達成 率	H30年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町	直 島 町			綾 川 町
2	高次の都市機能の 集積・強化	ア	高度な医療サービスの提供	医療人材の 確保・育成	看護師等養成所 卒業生の資格取得率	%	100	98	98.0	平成 2 8 年度から最終年度まで卒業生全てが資格 を取得すると想定し、100%を目標値として設定している。 平成 3 0 年度は卒業生のうち98%（122人中119人）が資格を取得することができた。	A						A		看護師及び准看護師の養成所（高松市医師会看護専門学校、木田地区医師会附属 准看護学院）の運営費の一部を助成することにより、医療人材の確保を図った。	【三木町】木田地区医師会附属准看護学院の運営に対して助成を行った。
			医療職員の 交流等	地域医療連携カンファレンス・セミナーにおける高松市外参加者数	地域の連携医療機関の医師との医療連携を進めるため、地域医療連携カンファレンス・セミナーを開催し連携強化に努める	人	16	13	81.3	H29年度目標値＋2人（16人）としたが、実績は13人であった。	A	B		B		B		B	院外で講師を招聘し、地域医療連携カンファレンス開催H30年6月21日 徳島大学大学院医歯薬学研究部発生発達医学講座小児医学分野香美教授（参加者91人）	【さぬき市】高松市立みんなの病院主催にて、徳島大学病院勤務医を招くなどし、地域医療連携カンファレンスを1回、地域医療連携セミナーを4回開催した。 【土庄町】0 【三木町】なし 【綾川町】0件
	イ	高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築	ICカードを利用した公共交通利用促進事業	公共交通利用促進事業実施自治体数	取組の目的は、I Cカード「I r u C a」を利用した公共交通利用促進事業を拡大することにより、公共交通の利便性を向上し、利用の促進を図るものであり、施策の参加自治体を増やす。	自治体	2	2	100	H30年度は、連携自治体に対し、引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の有効性を共有し、事業を拡大する。 H30年度は、周知・情報共有などの準備期間であるため、現状維持を目標として設定した。	A	B		B	A	A	A	H30年度は、連携自治体に対し、引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の拡大に努めた。	【さぬき市】取組実績なし 【土庄町】航路及び路線バスの利便性向上を図るため、バス及び航路で I Cカードが利用できる旨の周知広報及び運転免許証自主返納支援事業としてICカードの発行を引き続き行った、 【小豆島町】町内バス路線と航路において導入済である。 【三木町】なし 【綾川町】・ゴールドイルカ事業も継続実施。・鉄道系 I Cカードを活用した公共交通の利用促進に向けて、高松市、ことでん、綾川町での三者協議を開催し、綾川セーフティイルカ事業を実施した。	
ウ	高等教育・研究開発の環境整備	大学等と連携した、将来の圏域を担うリーダーの育成	大学等との連携・協力事業数	庁内照会により把握した大学等との連携・協力事業数	事業	91	104	114.3	年間 4 事業ずつ連携事業を増やし、平成35年度までに130事業を目指す。H30年度はスポーツイベントや若年層への行政課題解決への参画等を目的とした連携を行い、目標を達成した。	A	B	A	B	A	A	D	B	地域活性化及び地域の魅力発信を図るため、大学等と多分野・多面的に連携し、連携事業の充実に努めた。 また、県内大学等との一層の連携協力を推進するため、若者から選ばれる大学づくり・まちづくり等を議題として、市長と学長・校長との懇談会を開催した。	【さぬき市】香川大学地域マネジメント研究科へ、1名の職員を派遣した。 【東かがわ市】香川大学との域学連携事業の実施 【土庄町】実績なし 【小豆島町】瀬戸内国際芸術祭関係準備関係 【三木町】なし 【直島町】取り組み実績なし。 【綾川町】情報収集と周知。	
		産学官連携推進事業	大学及び企業等との連携事業数	庁内照会により把握した大学等との連携・協力事業数及び包括協定を締結する企業等との連携事業数	事業	115	148	128.7	大学等との連携・協力事業数及び包括協定を締結する企業との連携事業数（H27年度18事業から年間1事業ずつ増加）の合計。H30年度は、スポーツイベント等の連携などを積極的に取り組んだ結果、目標を達成した。	A	B	A	C	B	A	D	B	包括協定を締結している大学等と特定行政分野に関する調査研究・共同事業を実施するとともに、金融機関との連携協力に関する協定に基づき、産業振興による地域活性化及び市民生活の向上に係る事業に取り組んだ。	【さぬき市】取組実績なし。 【東かがわ市】香川大学との域学連携事業の実施 【土庄町】実績なし 【小豆島町】香川大学と連携事業を実施 【三木町】なし 【直島町】取り組み実績なし。 【綾川町】本町は、四国学院大学と連携協定を締結しているが、庁舎内関係課において協定の内容で連携がとれた。	

連携協約項目					事業 (取組) 名	KPI（成果目標）								連携市町評価							H 30年度 高松市取組実績	連携市町の評価の理由		
						KPI	KPI説明	単 位	30年度 目標	30年度 実績	達成 率	H30年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町	直 島 町	綾 川 町				
3	圏域全体の生活関連機能サービスの向上	ア	生活機能の強化に係る政策分野	(ア)	地域医療	救急医療体制の確保	市民満足度における「医療体制の充実」の満足度	休日・夜間における初期及び二次救急医療体制の確保を図ることで、市民が安心して暮らすことのできる環境づくりを目指す。	%	42.1	46.8	111.2	平成 2 8 年度から毎年度0.6%ずつ上昇させ、最終年度に45.3%の目標値を設定している。 平成 3 0 年度市民満足度調査の結果において46.8%であった。	A						A	A	A	地区医師会への在宅当番医制の委託、歯科救急医療センターにおける休日・夜間歯科診療運営事業への助成、病院群輪番制病院運営事業に対する助成及び夜間急病診療所の指定管理者による運営により、休日・夜間における初期及び二次救急体制の確保を図った。	【三木町】在宅当番医制事業運営費等負担金（木田地区医師会・木田郡歯科医師会）、病院群輪番制運営費負担金、病院群輪番制病院設備費負担金 【直島町】休日在宅当番医制及び病院群輪番制ならびに高松市歯科救急医療センターの運営について支援を行った。 【綾川町】参加医療機関数 16、年間救急患者数（当番対応時間内）848（うち転送患者数 8）
						救急艇の活用	-	-	-	-	-	-	0	A			A	A		C	搬送実績（平成 3 0 年暦年） 土庄町： 3 7 件	【土庄町】救急艇搬送実績 土庄町住民 13件 小豆郡以外住民 4件 【小豆島町】 搬送実績 土庄町：13件、小豆島町：16件、他市町：4件 【直島町】取り組み実績なし		
						島しょ部（土庄町及び小豆島町）への医師派遣事業	医師派遣件数	医師の派遣に関する協定に基づく、派遣件数	件	0	0	-	高松市立みんなの病院の医師を、島しょ部である小豆島町の自治体病院に派遣した回数	A			A	D				取組実績なし （※小豆島中央病院からの派遣要請が、平成 2 9 年度末で、一旦終了したため）	【土庄町】平成30年度は新高松市民病院の開院のため休止 【小豆島町】実績なし	
						遠隔医療ネットワークを使った連携	医療情報公開実績件数（H28からの累計）	患者さんの同意に基づき、参加医療機関からの求めに応じた診療情報（画像・カルテ等）の公開件数 年50件、H28～H35までの8か年の累計	件	150	271	180.7	過去実績等を踏まえた目標設定に対し、引き続き開業医への訪問時等の機会を捉え、K-MIXの利用促進を図ったことにより、実績は目標を上回った。	A	B		A	C	B		B	かかりつけ医との情報共有を図ることにより、地域における高度かつ効率的な医療の提供に貢献した。	【さぬき市】他の医療機関からの公開の求めに応じた公開実績は、4 2 件となっており、さぬき市民病院が他の医療機関の医療情報を参照した実績は、0 件となっている。 【土庄町】0 【小豆島町】実績なし 【三木町】なし 【綾川町】0 件	
						「地域包括ケア病棟」運用事業	在宅復帰率	地域包括ケアシステムの中で、その一翼を担うため、地域包括ケア病棟の開設し、患者の在宅復帰支援を行う。（在宅復帰率）	%	60	55	91.7	9 月の病院の新築移転により地域包括ケア病棟の病床稼働率は一時的に下がったもののその後は順調に推移した。移転前後を含むことから目標をやや下回った。	A	B		A	C	B		B	地域包括ケアの後方支援の強化としての「地域包括ケア病棟」を 9 月の新病院移転後も設置するとともに、入退院支援や在宅医療支援又医療福祉相談などを一元化して提供できるよう「地域医療・患者支援センター」を整備し、急性期を脱した患者の在宅復帰を支援した。	【さぬき市】地域包括ケア病棟の運用にて、看護師等が早期に関わることにより、在宅復帰率の向上に努めた。 【土庄町】0 【小豆島町】－ 【三木町】なし 【綾川町】当院において、地域包括病床の変更に向けて、研鑽・検討してきた。	

連携協約項目					事業 （取組） 名	KPI（成果目標）					連携市町評価							H 30年度 高松市取組実績	連携市町の評価の理由					
						KPI	KPI説明	単 位	30年度 目標	30年度 実績	達成 率	H30年度の目標設定方法及び目標値に対する 実績の理由	高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町			三 木 町	直 島 町	綾 川 町		
				(イ) 介護	地域密着型サービス（認知症対応型共同生活介護）広域利用事業	当該事業所周知率	当該サービス事業者の指導・監督権限を有するため周知を行った割合	%	100	100	100	当該サービス事業者の指導・監督権限を有する施設を目標値とし、周知を行った件数を実績とした。	A								D		高松市地域密着型サービス事業者指定に係る制限に関する要綱において、本市域内の地域密着型サービス（認知症対応型共同生活介護）については、原則、本市転入後 6 ヶ月を経過しない者の利用又は入居はできないが、当該サービス事業所がない直島町からの転入者には、6 ヶ月が経過していなくても利用又は入居できる運用とする。	【直島町】取組実績なし
					在宅医療・介護連携推進事業	多職種連携構築度評価平均得点	多職種連携研修等に参加している専門職による、地域の多職種連携構築度評価の平均得点（最高10点、最低0点）	点	5	5	100	医療・介護関係者が、多職種連携ができていると評価した点数は、目標値と同じ点数となり、目標を達成できた。	A							A	D		在宅医療・介護連携推進事業の 8 事業項目において、更に内容を充実させるため、下記の事業に取り組んだ。 ○在宅医療介護連携推進会議の開催（ 6 回／年） ○多職種連携研修会 ○関係町との情報交換会 ○在宅ケア便利帳（Web版）の更新 ○在宅医療支援センターの設置	【三木町】在宅医療・介護連携推進事業の事業項目の（ア）・（イ）・（ウ）・（エ）・（オ）・（カ）・（キ）・（ク）のすべての項目に取り組んだ。医療介護の資源リストや情報共有のためのツールとして手帳等を作成した。 【直島町】取組実績なし。
					地域包括支援センター運営事業	自立高齢者率	介護・支援を必要としていない 6 5 歳以上の高齢者の割合（％）	%	78.9	78.8	99.9	第2期高松市データヘルス計画（国民健康保険及び介護保険の保険給付費適正化計画）の中で算定したものである。	B			B	B	A		C	H30.11.20参画市町との会議を開催し、認知症施策や地域ケア会議について、情報交換を行った。31.1.19参画市町村他と共に、合同研修会を開催。	【土庄町】情報交換会及び研修会に参加 【小豆島町】●関係市町村情報交換会に参加できず、意見提出。（11/20開催分）研修会には参加（2/19）。 【三木町】高松市の呼びかけにより情報共有のための、意見交換会が実施され、有意義であった。 【綾川町】地域包括支援センター運営		
					徘徊高齢者保護ネットワーク	徘徊高齢者保護ネットワークによる発見率	徘徊高齢者保護ネットワークに提供された、徘徊高齢者の搜索依頼件数に対する発見割合	%	100	94.1	94.1	徘徊高齢者の全員を発見することを目標としているが、17件の搜索依頼のうち16件を発見できたことによるもの。	A	B	B			A		B	認知症高齢者の行方不明事案が発生した場合に、警察署や市役所の関係課などの関係機関が連携する「徘徊高齢者保護ネットワーク」を活用し、より広域で徘徊高齢者の情報を共有化することにより、当該高齢者の早期発見に取り組んだ。平成 3 0 年度の連携中枢都市圏域でのネットワーク利用は、2 件であった。	【さぬき市】 周辺市町との徘徊高齢者保護ネットワークを活用した他市町への保護要請依頼は0件、他市町からの保護要請受諾は0件であった。 【東かがわ市】かがわ高齢者見守りネットワークにより広域的に実施 【三木町】徘徊高齢者保護ネットワークでの搜索の実績はないが、県の認知症高齢者行方不明等に関する連絡事務要領による行方不明者高齢者の搜索協力依頼をし、搜索をした事例があった。 【綾川町】0件		
					介護認定審査会事業	介護認定審査会開催件数	原則週 2 回開催される介護認定審査会開催の開催数（グループ毎の合計）	回	693	622	89.8	目標設定方法：認定審査会の年間開催予定数を目標値とする。 実績の理由：審査案件数が少ない週は認定審査会が不開催となる合議体も発生するため、目標値を下回った。 1 1 月末に 1 市 3 町の連絡会を実施し、意見交換等の情報共有を図った。	A							A	A	A	3 町から委託された審査案件全てを認定審査会にて審査・判定し、要件に合致する認定申請については、認定審査会を簡素化して実施した。簡素化の実施により、1 回の審査会で審査・判定できる審査案件数が増加したため、認定審査会の年間開催予定数をこれまでより減少させた。 1 1 月末に 1 市 3 町の連絡会を実施し、意見交換等の情報共有を図った。	【三木町】介護認定審査会開催 50回 【直島町】介護認定審査を依頼。依頼件数は203件。 【綾川町】開催件数・・・51回、審査会委託件数・・・1,528件

連携協約項目						事業 (取組) 名	KPI（成果目標）							連携市町評価								H 30年度 高松市取組実績	連携市町の評価の理由
							KPI	KPI説明	単 位	30年度 目標	30年度 実績	達成 率	H30年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町	直 島 町	綾 川 町		
			(ウ)	福祉	自立支援協議会運営事業	全体会開催回数	定期的な情報共有を図るとともに、検討する場として開催している、全体会開催回数を成果指標とする。	回	2	2	100	例年通り年2回開催を継続。	A						A	A		・障害福祉施策についての周知を行った。 ・関係機関の連携強化及び相談支援の充実・強化を図るための研修等を行った。 ・専門部会等の運営を行った。 ・その他の相談支援充実・強化を図るための事業を行った。	【三木町】高松圏域自立支援協議会の運営費を負担するなど、運営事業について支援した。 【直島町】毎月開催の自立支援協議会運営会議、今年度より新たに発足した子ども部会・発達障害部会に随時出席。 年 2 回開催の全体会についても出席。
					障害支援区分等審査会業務の連携	審査会開催回数	原則毎週水曜日に審査会を開催していることから、開催回数を成果指標とする。	回	50	49	98.0	年間最大50回の開催を継続。 H30年度は案件数が少ない回があり、開催を1回見送った。	A					A	A	A	・審査会を49回開催し、市と 3 町の審査について、引き続き連携した。 ・審査件数：高松市816件、三木町64件、直島町3件、綾川町57件	【三木町】審査依頼件数65件 【直島町】障害支援区分の認定審査を依頼。依頼件数は8件。 【綾川町】開催回数48回、綾川町判定依頼55名	
					ファミリー・サポート・センター事業	ファミリー・サポート・センター事業利用件数	ファミリー・サポート・センター事業利用件数	件	6,800	8,181	120.3	過去の実績等から目標を設定した。 H30年度は、広報誌の発行や交流会の開催など、制度の周知に努め、目標を達成した。	A	B				B	B	B	援助活動件数：8,181件 会員養成講座：年間で計3回開催、会員スキルアップ講座：年2回開催、会員交流会：年2回開催 ファミサポ通信：24・25号発行	【さぬき市】会員登録者数（おねがい会員231人、まかせて会員148人、どちらも会員8人） 援助活動実績数1,716件 【三木町】「広報みき」で出張登録会等の事業についての P R を実施した。また、子育てハンドブック「みき育ぼん」において、ファミリー・サポート・センターについて掲載し、子育て家庭へ事業の周知を行った。 【綾川町】パンフレットの配布、広報誌への掲載等住民への周知を行うとともに、利用料補助を行った。	
					移動図書館巡回事業	貸出冊数	直島町の巡回ステーション 2 か所における年間図書貸出冊数	冊	7,000	6,569	93.8	ビジョン最終年度の目標値を前倒して平成35年度目標値としている。直島町広報紙等による、移動図書館巡回日程等の周知効果が表れてきていると考えられる。	A						A		毎月 1 回、移動図書館車が直島町内の 2 ステーションを巡回し、図書館サービスを提供した。	【直島町】・年間利用者のべ636名、・同貸出し冊数6,569冊	
					読書推進ボランティア養成事業	講座受講者数	読書推進に係るボランティア養成講座の年間受講者数	人	120	102	85.0	ボランティア養成講座の各定員の合計人数を目標値としている。これまで個別に実施していた絵本の読み聞かせやブックスタートを行うボランティアのほか、対面朗読ボランティア等を対象に実施したが、H29年度に比べて、講座数が少なかったため総参加者は減少した。	B	B	C	C	C	C	C	B	子どもへの絵本の読み聞かせや絵本作家の作製する絵本への思いについて、読み聞かせボランティア等の技術の習得や向上を図るため、連携市町のボランティア（グループ）も参加対象として、講座を計 2 回実施し、102人（広域 11 人）の参加があった。	【さぬき市】行っていない。 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】実績なし 【小豆島町】実績がないので評価できない。 【三木町】町内外に対し情報発信を行った 【直島町】例年実施しているメンバーであるため、研修会等は取り組み実施なし。 【綾川町】実績なし。	
			(エ)	教育・文化・スポーツ	帰国児童等支援事業	指導を行った件数／指導が必要な帰国児童等	帰国児童等への日本語指導等対応率	%	100	50	50.0	帰国児童等への日本語指導等に十分に対応でき、児童生徒の円滑な学校生活や学習支援に寄与した。	C						C	C	近隣自治体と要支援情報等について情報を共有し、支援が必要な児童生徒の対応に生かした。また、近隣自治体にも情報提供を行った。帰国児童等の急な入れ替わりにより、日本語指導者の派遣が難しいものとなった。	【三木町】なし 【綾川町】広域連携による支援ケースはなかった。 （町単独での対応）	

連携協約項目					事業 （取組） 名	KPI	KPI説明	KPI（成果目標）				H30年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	連携市町評価							H 30年度 高松市取組実績	連携市町の評価の理由	
								単 位	30年度 目標	30年度 実績	達成 率		高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町	直 島 町			綾 川 町
					特別支援教育推進連携事業	相談訪問件数／相談希望校数	相談希望校等への相談訪問率	%	100	92.7	92.7	障がいの種類が複雑になってきており、支援を適正に行う体制整備を行う必要があるなかで、希望した学校にはすべて対応できた。	A			C	B	B		B	高松市が中心となって高松地域連携推進協議会を運営し、三木町と連携を図った。	【土庄町】実績なし 【小豆島町】取り組み実績なし。 【三木町】年 2 回の地域連携推進委員会のうち、1 回を高松地域で実施し、就学指導の現状や課題について協議した。 【綾川町】県の補助事業を有効に活用し、支援や相談等を必要とする保育所・こども園・幼稚園・小中学校に早期支援教育コーディネーターを派遣した。また、就学指導委員会等の場で指導・助言を受けた。
					こども未来館学習体験事業	こども未来館学習参加校数	こども未来館学習参加校数	校	53	64	120.8	【H30年度の目標設定方法】高松市内の小学校と瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の小学校を合わせて、50校としていた。 【目標値に対する実績の理由】平成30年度には希望する市内の中学校6校を受け入れたため、目標値をはるかに超えて61校が実施した。	A	B		C	A	A	A	B	高松市内の小学校47校、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の小学校8校、高松市内の中学校6校の合わせて61校がこども未来館学習を実施した。	【さぬき市】さぬき市内 小学校 3 校実施、・神前小学校 平成 3 0 年 7 月 1 2 日 4 年生、・石田小学校 平成 3 0 年 9 月 6 日 4 年生、・津田小学校 平成 3 0 年 9 月 2 0 日 4 年生 【土庄町】実績なし 【小豆島町】町内の小学校から、1 校が参加を行った。 【三木町】小学校 4 校のうち 2 校が実施。 【直島町】参加者数31人（児童28人、引率教員3人） 【綾川町】校外学習担当者や特別活動主任等が施設を見学した。
					史跡・遺跡の調査研究及び発信	講座等参加者数	圏域内の史跡・遺跡の調査研究について、講座等でその成果を紹介し、情報発信を連携して行う。その参加者数	人	3,000	2,327	77.6	講座等を年間を通じて実施したほか、出前講座等で多くの人に遺跡の調査研究の情報発信を行う場面を設けた。	B	B	A	C					発掘調査現場の見学会の実施2回 一般向けの見学会及び講演会等の出前講座の実施28回 学校向けの見学会・出前講座13回 シンポジウム・連載講座の開催6回	【さぬき市】行っていない。 【東かがわ市】引田城跡啓発事業（引田城ガイド等）を実施し、34回305名の参加があった。 【土庄町】実績なし
					高松市埋蔵文化財センターの運営	施設利用者数	埋蔵文化財の調査技術、調査成果等に関する情報交換を行うとともに、埋蔵文化財の情報発信事業（展示等）のための資料の相互貸借を行う。その利用者数	人	3,000	2,577	85.9	企画展や体験講座を実施して、イベントに参加する機会を多く設けた。	B	B	C	C	B			B	企画展の開催2回 夏休み講座の開催4回 体験講座10回	【さぬき市】行っていない。 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】実績なし 【小豆島町】刊行物の相互交換など 【綾川町】実績なし。
					中学校総合体育大会等の連携	中学校総合体育大会等における実施競技数	中学校総合体育大会・中学校新人体育大会における実施競技数に、中学校駅伝競走大会を加えた競技数	競技	18	17	94.4	目標設定方法の理由：例年実施している競技の大会を継続して開催することにより、体力・運動能力の向上や相互の友情を深めるとともに、教職員の体育指導の資質を高めるなど、体育の充実発展と心身ともに健全な児童生徒の育成を図ることができる。 目標値に対する実績の理由：例年どおりの競技数の大会を開催し、部活動等での練習の成果を発揮することができた。	A						A	B	高松地区総合体育大会、高松地区新人体育大会及び高松地区駅伝競走大会の開催	【三木町】総合体育大会・新人体育大会を実施した。 【直島町】・中学校総合体育大会 参加競技数 5 種目（参加生徒数のべ49人）、・中学校新人体育大会 参加競技数 2 種目（参加生徒数のべ30人）、・中学校駅伝競走大会 参加なし
					高松市屋島陸上競技場の活用	屋島競技場利用者数	屋島競技場の利用者数（旧屋島陸上競技場閉場前 3 年間平均値：62,827人）	人	100,000	106,378	106.4	旧屋島陸上競技場利用者と比較して、平成 3 1 年時点で、利用者数の 9 割増を目標とした。指定管理者と連携し、各種イベントの実施等利用者増の取り組みを行った結果目標を達成した。	B	B	C	C	C	C	C	B	屋島源平ルーマラソンの開催 日本パラ陸上競技選手権大会の開催 陸上競技団体（大学陸上部等）の合宿誘致	【さぬき市】取組み実績なし。 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】連携事業としての実績なし 【小豆島町】実施なし 【三木町】なし 【直島町】広報周知等の取り組み実績なし。 【綾川町】イベント等のチラシの配布。ポスターの掲示。
					地域密着型トップスポーツチームの試合観戦機会等の提供	トップスポーツチーム試合観戦者数	地域密着型トップスポーツ 4 チームのホームゲームにおける観戦者数	人	148,300	113,138	76.3	過去 3 ヶ年（24年度～26年度）の実績（前年比）の平均値を基に、算出している。 観客数全体の約26%を占める香川ファイアアローズは前年比微増となったものの、約57%を占めるカマタマール讃岐は大幅減少し、総体的には目標値に対し、76%に留まる結果となった。	C	B	C	A	B	C	B	B	圏域内の児童生徒等に、高松市内を拠点に活動している地域密着型トップスポーツチームの試合観戦の機会を提供するため、チーム等との連絡調整及び取りまとめ事務を行った。	【さぬき市】香川県地域密着型スポーツ活用協議会交流事業を利用し、各チームとさぬき市民向けのイベントを行った。香川オーリブガイナース：さぬき市内で行われた公式戦の際にホームタウンデーイベントを実施。カマタマール讃岐：ホームゲーム最終戦でさぬき市サンクスDAYイベントを実施。また、市内でのスポーツイベントの際にさぬき市出身の高木選手に招待選手として参加してもらった。香川ファイアアローズ：高松市で行われた公式戦の際に、東かがわ市と共同で東かがわ市・さぬき市ホームタウンデーイベントを実施 【東かがわ市】高松合同カマタマール讃岐体験会＆観戦ツアー 香川ファイアアローズ親子観戦ツアー 【土庄町】高松ファイアアローズ公式戦開催およびアカデミーの開催 【小豆島町】チラシ頒布 【三木町】なし 【直島町】香川オーリブガイナース試合観戦 1 件（悪天候のため中止） 【綾川町】香川オーリブガイナースによるふれあい運動教室の開催し、選手と触れ合っていたくとともに、綾川町ホームタウンデーを開催し、観戦機会の拡大を図った。。

連携協約項目					事業 (取組) 名	KPI（成果目標）								連携市町評価								H 30年度 高松市取組実績	連携市町の評価の理由
						KPI	KPI説明	単 位	30年度 目標	30年度 実績	達成 率	H30年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町	直 島 町	綾 川 町			
(オ) 地域振興	グリーン・ツーリズム等農業振興事業	グリーン・ツーリズム実践団体来場者数（協議会会員のみ）	農業体験等のグリーン・ツーリズムを推進し、都市住民との交流促進及び農業所得の向上を図る。	千人	178	179	100.6	○H30年度の目標設定方法：過去の実績を基に目標値を設定している。 ○目標値に対する実績の理由：実践団体も増加しており、目標以上の実績となった。	A				C	A	B			グリーン・ツーリズムをPRし、農業体験等を通じた圏域住民との交流促進を図った。	【土庄町】連携事業としての実績なし 【小豆島町】農林水産課、オリブ課共にイベントを行い、交流人口は約362,000人となった。 【三木町】県とともにパンフレットを通してグリーン・ツーリズムの推進、情報発信を行った。				
	獣害対策事業	ニホンザル被害の軽減（面積）	高松市鳥獣被害防止計画に基づく、ニホンザルの農作物への被害面積	ha	2.02	1.64	81.2	○H30年度の目標設定方法：過去の実績を基に目標値を設定している。 ○目標値に対する実績の理由：サルの個体数を減らすことで、農作物被害の減少を図る。効果歴なわなの設置と集落による被害防止活動への支援を行い、一定の効果が得られた。	A						B			サルの出没情報を共有し、出没頻度の高い地域に集中的にわなを設置した。これによりサルを6頭捕獲した。また、集落でサルを追払いができるよう講習会を開催し、実戦訓練を行った。	【三木町】高松市東植田町と三木町朝倉地区のニホンザルの出没場所等の情報共有を行った。				
	産学官連携推進事業【再掲】																						
	生涯学習推進事業	生涯学習コーディネーター養成講座参加人数	本市がほぼ毎月開催している生涯学習コーディネーター養成講座への年間参加延べ人数	人	478	411	86.0	H30年度目標：各コミュニティセンターから460人土庄町、小豆島町各1人×9回出席＝18人。各コミュニティセンター、連携町からの参加者数が少なかったため目標に達しなかった。	B				C	C				生涯学習コーディネーター養成講座を、年間10回実施し、5月からの9回について連携町である2町に対し参加を依頼したが、参加者は0名だった。 また、生涯学習センターで実施している講座を掲載している「まなびかんづめ」を連携町に送付し、連携町での周知等を依頼した。	【土庄町】実績なし 【小豆島町】チラシ頒布				
	男女共同参画センター学習研修事業	学習研修事業参加者数	学習研修事業に参加することによって、男女共同参画に関する意識が啓発される可能性が高いため。	人	3,600	3,588	99.7	過去の実績から目標を設定しており、平成30年度においては、概ね目標に達することができた。	B				C	B			B	男女共同参画に対する理解を深めるため、男女共同参画センターにおいて、各種セミナー・講座を実施した。 ○学習研修事業（全67回） ・男女が共に活躍するまちづくり講座（6回） ・参画センター出前セミナー（12回）	【土庄町】実績なし 【小豆島町】各種講座の情報提供や、出前講座の実施はできていない。 【綾川町】実績なし				

連携協約項目					事業 （取組） 名	KPI（成果目標）							連携市町評価							H 30年度 高松市取組実績	連携市町の評価の理由		
						KPI	KPI説明	単 位	30年度 目標	30年度 実績	達成 率	H30年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町	直 島 町			綾 川 町	
				(カ) 災害対策	災害時相互 応援協定	-	-	-	-	-	-	-	0	A	A	A	A	A	A	A	圏域市町に大規模な災害が発生していないため、実績はないが、平常時から連携を図り、発生時に的確に対応できるよう備えた。	【さぬき市】なし 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】相互応援体制を維持し、不測の事態に備えた。 【小豆島町】瀬戸・高松広域連携中枢都市圏交流研修（H31.2.4開催の防災研修）に参加。 【三木町】高松市危機管理センターにおいて開催された、高松市役所幹部を対象とした危機管理研修に合同で参加した。 【直島町】圏域住民のために必要であり、協定を継続した。 【綾川町】特になし。	
					香川県消防 相互応援協 定	-	-	-	-	-	-	-	0	A	A	A	A	A	A	A	A	消防相互応援体制を維持し、不測の事態に備えた。 実績なし。	【さぬき市】なし 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】相互応援体制を維持し、不測の事態に備えた。 【小豆島町】瀬戸・高松広域連携中枢都市圏交流研修（H31.2.4開催の防災研修）に参加。 【三木町】情報交換などを実施した。 【直島町】圏域住民のために必要であり、協定を継続した。 また、被災時の受援体制について協議を行った。 【綾川町】特になし。
					高松空港及 びその周辺に おける消火救 難活動に関 する協定	-	-	-	-	-	-	-	0	A					A	A	A	消火救難活動体制を維持し、緊急対応に備えた。 実績なし	【三木町】協定において「消火消火救難活動」に限っていた活動範囲を、「緊急事態（高松空港株式会社が想定する航空機事故等）」に拡大するための協議をおこなった。 【綾川町】特になし。
					消防業務の 事務委託	-	-	-	-	-	-	-	0	A					A	A	A	受託町における消防行政を円滑に実施するとともに、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進した。 建物火災： 7 件（平成 3 0 年暦年）	【三木町】火災出場18件（建物火災1件、林野火災4件、その他火災13件）、救急出場（出場1,311件、搬送人員1,129件）、住民の安心・安全に寄与している。 【綾川町】常備消防業務委託、消防局緊急情報システム整備事業負担金、高機能消防指令システム等整備事業負担金、消防救急情報システム更新整備事業負担金
					地域防災対 策事業	圏域市町との防 災行政無線等 を活用した通信 訓練を行う連携市 町数	災害時の通信方法の確認 のため、防災行政無線等 を活用した通信訓練を行い、 相互の応援要請や被害状 況等の把握を行う。	自 治 体	1	0	※ H30.7 豪雨災 害対応 のため 次年度 へ見送 り	目標設定方法:圏域7市町と、災害時の通信方法を 確認するため、計画的に対応自治体を1自治体ずつ 増やす。 実績の理由:自治体数を増やすことはできなかったが、 相互の被害状況の把握のための訓練を実施したい。	A	B	A	D	B	B	B	A	A	平成30年7月豪雨により被災した地域（倉敷・愛媛等）からの応援要請に伴う対応により、震災対策総合訓練の参加団体との調整に苦慮したため、通信訓練を次年度へ見送った。	【さぬき市】なし 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】実績なし 【小豆島町】0 【三木町】0 【直島町】取り組み実績なし。 【綾川町】なし

連携協約項目					事業 （取組） 名	KPI（成果目標）							連携市町評価							H 30年度 高松市取組実績	連携市町の評価の理由
						KPI	KPI説明	単 位	30年度 目標	30年度 実績	達成 率	H30年度の目標設定方法及び目標値に対する 実績の理由	高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町	直 島 町		
	(キ)	環境	一般廃棄物の処理・処分に関する業務	-	-	-	-	-	0	A							A	綾川町から委託を受け、西部グリーンセンターにおいて、綾川町の区域から排出される一般廃棄物4,923 t（し尿及び浄化槽汚泥を除く。）の中間処理（焼却、破砕）を行った。 また、高松市国分寺地区から排出される一般廃棄物を中間処理した後に生じる残さの埋立処分に関する業務を綾川町に委託し、焼却灰2,298 t を綾川町一般廃棄物最終処分場へ搬出した。	【綾川町】綾川町一般廃棄物処理基本計画に基づいて処理を行っている。		
			し尿処理に関する業務	-	-	-	-	-	0	B					A	A	三木町・綾川町から排出された、し尿及び浄化槽汚泥の処理を行った。また、本市と綾川町が共有している国分寺町し尿貯留槽の管理を綾川町に委託した。 処理実績 6 4, 1 4 6 kℓ (内訳) し尿 浄化槽汚泥 計 三木町 2,107kℓ 6,283kℓ 8,390kℓ 綾川町 1,346kℓ 3,696kℓ 5,042kℓ	【三木町】 三木町から排出されたし尿及び浄化槽汚泥の処理を行った。処理実績8,390K ℓ（内訳）し尿2,107k ℓ 浄化槽汚泥6,283k ℓ 【綾川町】施設の老朽化による修繕は時々あるが、修理対応はできている			
			環境学習等推進事業	環境学習講座参加者数	環境学習講座（環境ワークショップ）、出前講座及び自然観察体験事業の参加者数の合計	人	2,260	1,949	86.2	平成28年度末で環境保全推進課分室を廃止したことにより、29年度からこども未来館や瓦町 F L A G などの新たな施設における講座を実施しており、30年度においても圏内からの参加があった。	B	B	B	B	B	B	A	B	環境学習講座の参加応募条件を「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏内に在住、又は通勤・通学する方」として、広報誌やホームページで参加者を募った。	【さぬき市】県主催の緑のカーテン育成講習会を市役所 1 階ホールにて共同開催した。 【東かがわ市】ごみの減量化に係る出前講座 2 回、緑のカーテンを広報誌で啓発 1 回 【土庄町】実績なし 【小豆島町】取り組み実績なし 【三木町】なし 【直島町】環境フェスタ2018を開催、直島小学校環境教室を年に4回開催した（アマモ見学、干潟観察、ハマチ養殖体験、ノリ養殖体験） 【綾川町】実績なし	
			環境負荷の少ない自動車の普及促進	市内における電気自動車保有台数	環境に負荷の少ない電気自動車を多くの市民に周知することにより、自動車の新規購入や買換えの際における電気自動車購入の意識付けを行う。また、市が設置した急速充電器の運営を行うとともに、市内の充電設備の情報提供を行うことなどにより、電気自動車の普及を図る。	台	502	367	73.1	過去の電気自動車保有台数（実績）の平均増加率と同程度の増加率が今後も継続するものとして目標値を算出 達成率は目標値の81％で、保有台数増加率は全国的にも伸び悩み傾向にあるが、保有台数は毎年着実に増加している。	B	C	B	B	C	B	D	B	公用車に電気自動車を 1 台導入し（全9台水道事業が香川県広域水道事業団に移管したことにより4 台減）、車体をラッピングして市内を走らせ、走行実績に伴う温室効果ガス削減量等の情報をホームページで発信した（ホームページ更新 1 2 回）。また、市が設置した市内 3 か所にある道の駅の急速充電器の情報発信や、環境展及びたかまつ C O O L C H O I C E キャンペーン普及啓発パネル展でのパネル展示を行い、電気自動車の普及を図った。	【さぬき市】取組実績なし 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】実績なし 【小豆島町】圏域内の連携行動は特になし。 ※小豆島町が独自に整備した充電施設などの保全に努め、当分のあいだ無償利用とすることで、電気自動車の普及を促進。 【三木町】なし 【直島町】町が率先して電気自動車の使用を行い住民に啓発活動を行った。 【綾川町】実績なし	
			小型家電等リサイクル推進事業	年間回収量	市が実施するボックス回収・ピックアップ回収・イベント回収により回収された使用済小型家電の総量	トン	16.49	15.14	91.8	市民への周知・啓発活動を行い、使用済小型家電の回収量増加と循環型社会の意識の啓発につなげる。回収目標については、R5年度の目標を 8 トン（市民一人当たり約20g）と設定し、その途中段階である H29年度の目標は6トン（市民一人当たり約15g）と設定している。 H30年度は市民への周知・啓発活動に努めたことにより回収量が増加した。	B	B	B	B	B	B	A	A	・市内 2 2 か所でのボックス回収、ピックアップ回収、イベント時の回収を実施した。 ・「小型家電等リサイクル推進事業担当課長会」を開催し、事業結果の検証と今後の取り組みを報告した。 ・H29年度より「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に参加し、スポーツイベント等でのイベント回収を実施した。	【さぬき市】各支所含む計5か所においてボックス回収を行い、合計198kgの使用済小型家電の回収があった。 【東かがわ市】拠点 3 か所でのボックス回収を実施し、回収実績は944 k g、広報紙掲載 1 回、チラシ全戸配布 1 回 【土庄町】ポスターの掲示等による周知等を行った。 【小豆島町】情報交換＝1回/年 【三木町】 町内公共施設 2 箇所に使用済小型家電の回収ボックスを設置して回収した。 【直島町】ピックアップ回収年間総量： 9.3トン 【綾川町】H29年度回収量 9 9 0 k g →H30年度回収量 1, 3 5 0 k g	
			不法投棄対策事業の推進	不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦参加者数	各市町が連携して地域住民及びボランティア参加のグリーン作戦を実施することで、地域の環境美化と不法投棄撲滅に対する意識啓発を図る。	人	7,200	4,873	67.7	毎年行っている 7 か所のグリーン作戦参加者数を目標値とした。H30年度の実績は、屋島グリーン大作戦において、市道が崩れ通行止めとなったことから清掃箇所が減少したことや、イノシシ対策として地元のボランティアの人数を意図的に減らしたため、参加者が減少した。	B	B	A	B	A	B	B	A	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏事業（不法投棄対策）協議会を開催し、協議承認を得た。 毎年行っている 7 か所のグリーン作戦を予定通り実施した。	【さぬき市】清掃活動を行う団体に対し、ごみ袋の支給及び清掃用具の貸し出し、ごみの回収などの支援を行い、延べ約8000人がグリーン作戦等の環境美化活動に参加した。 【東かがわ市】情報交換会 1 回、市環境美化促進員によるパトロール 8 回、海岸・河川清掃を実施 【土庄町】近隣市町村と協力し、同時期開催による不法投棄撲滅を目的とした土庄港周辺のグリーン作戦等を行った。また、各自治会ごとに定期的な海岸清掃活動を行ったり、継続的なパトロールを行い、不法投棄が発生した場所を監視している。 【小豆島町】情報交換＝1回/年。グリーン作戦等の行事は、それぞれの連携町が単独で実施。 【三木町】平成30年12月2日高松市公測森林公園において、きれいな自然環境を守ろう！高松・三木出会いふれあいグリーン作戦を実施した。参加者数 三木町 5 2 人 高松市 2 1 1 人 計 2 6 3 人 【直島町】H30.7.14町内海岸 参加者約500名、回収量2.8トン、8月～2月（月2回）重点海岸漂着物回収 延べ50人、回収量2.25トン 【綾川町】5月綾川町クリーン作戦、1月エアポートクリーン作戦、3月綾川河川清掃	

連携協約項目					事業 (取組) 名	KPI	KPI説明	KPI（成果目標）				H30年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	連携市町評価							H30年度 高松市取組実績	連携市町の評価の理由	
								単 位	30年度 目標	30年度 実績	達成 率		高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町	直 島 町			綾 川 町
			(エ)	地域内外 の住民との 交流・移住 促進	自然体験等 を通じた住民 の交流の促進	瀬戸・高松広域 連携中枢都市圏 ポータルサイトへの アクセス数	イベント情報を掲載する瀬戸・高松広域連携中枢都市圏のホームページのアクセス数	件	2,700	6,747	249.9	H29年度実績（訪問者数）をベースに、圏域人口（ビジョン目標）の1%を最終年度の目標とし、暫増を目標とする。周知方法が限定的なイベントなどを周知することで、効果的魅力発信につながった結果、目標達成につながった。	B	B	B	C	B	A		B	H28年度に構築した、ポータルサイトについて、適切な保守・管理を行いながら、都市圏ビジョンに基づく取組や本市及び連携市町の魅力を、適宜、発信した。	【さぬき市】行っていない。 【東かがわ市】市内団体の独自の取組を支援している。 【土庄町】実績なし 【小豆島町】棚田保全のため、棚田オーナー制度を全国各地から募集し、実施しており圏域内からの参加者も多数おり交流が続いている。 【三木町】なし 【綾川町】実績なし。（農家民宿が綾川町内に新たに増えたことは把握。）
				移住・交流促進事業	圏域市町全体での社会増減	移住促進策の実施に伴う、圏域全体での社会増減数	人	1,004	285	28.4	過去の実績等を踏まえて目標を設定。 15歳から34歳までの若者世代が227人の社会減に転じた影響などから、目標を達成することができなかった。	B	B	A	B	A	A	C	A	香川県とも連携を図り、家賃等補助事業を実施するとともに、移住フェアに参加し、就職・移住に関する相談対応や情報発信を行った。また、東京都内に「瀬戸・たかまつキャリアサポートセンター」を開設し、移住相談のほか、地元企業とのマッチングや都内の大学への就職情報の提供を行い、6名が移住した。	【さぬき市】取組実績なし。 【東かがわ市】移住者への金銭的支援や東京・大阪での移住フェア、東讃地区での移住者交流会など実施、・移住フェア2回・移住者交流会1回 【土庄町】空き家バンク、島暮らし体験の家の運営、都市圏でのセミナー・フェアへの参加などの移住促進施策に取り組んだ。（実績：I・Jターン 115組138人、Uターン59組78人） 【小豆島町】小豆島町移住者数（I・Jターン）145人（Uターン）123人、移住フェア 東京 4回 大阪 2回 【三木町】移住フェア・移住者交流会への参加 【直島町】東京・渋谷の瀬戸・たかまつ移住&キャリアサポートセンターへパンフレット等資料の提供を行った。 【綾川町】香川県移住・定住推進協議会での連携。	
				ウ	圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	人材育成事業、合同研修等の実施	合同研修の開催回数	合同研修の機会を増やし、圏域自治体職員の能力向上及び市町域をまたいだ交流や連携を図るため。	回	5	5	100.0	人材の育成・交流及び圏域のマネジメント能力の向上を図ることができる研修を合同で実施する。H30年度については、H29に実施を見送った業務改善能力向上研修の合同研修を実施したことから、目標値を達成した。	A	B	A	A	A	A	B	A	実践的政策形成能力を高めるための研修を始め、行政環境の変化に対応できる幅広い視野を養うための教養講演会を合同で実施し、圏域内市町職員の能力・資質の向上を図った。 【開催回数】・業務改善能力向上研修1回・政策形成能力向上研修1回・OJT研修1回・政策評価能力向上研修1回・教養講演会1回
				地域コミュニティ人材養成事業	講演会・講習会の参加者数	講演会・講習会の参加者数	地域のリーダー養成を目的として実施している人材養成事業の参加者が増加することで、地域コミュニティの自立と活性化が図られる。	人	350	343	98.0	前年度と事業形態に変更がないため、前年度目標値及び実績を基に設定。 各地域での取りまとめを行っているコミュニティ協議会に対し、機会を捉えて講演内容等の周知を行い、参加意欲を喚起した。	B	B	A	D	B	B	B	B	・「実践に学ぶこれからの地域づくりへのヒント（その2）」として、各地域コミュニティ協議会を対象とした研修を実施した。 開催日：平成31年1月12日 開催場所：市役所13階大会議室 参加者数：129人 講師：高崎経済大学教授櫻井常矢氏 ・「平成のまちづくり、次代のまちづくり」という視点から、各地域コミュニティ協議会を対象とした研修を実施した。 開催日：平成31年2月16日 開催場所：高松テルサ 参加者数：343人 講師：帝塚山大学名誉教授中川幾郎氏	【さぬき市】市政懇談会を市内2ヶ所で開催した。なお、自治会長を中心に166人の参加者があった。 【東かがわ市】本市地域コミュニティ活性化シンポジウムを開催した。 【土庄町】実績なし 【小豆島町】取り組み実績なし 【三木町】講演会未開 三木町-0名 【直島町】H31.2.16：1名出席（H30高松市地域コミュニティ人材養成事業講演会） 【綾川町】特になし。